

まず知っておきたいこと

LINEアニメーションスタンプ制作スキル / インストールと使用方法

自分のキャラクターを使い、
動くスタンプを制作します。

このマニュアルはWindowsの
デスクトップ版Codex用です。



掲載例：アイペンちゃんの基本イラスト。見本の掲載は、第三者への自由な改変・販売許可を意味しません。

準備

>

デザイン

>

制作

>

登録

>

人が申請

最優先：権利と使用量を確認する

キャラクター・写真・ロゴ・フォントの著作権、商標権、肖像権、利用条件を確認してください。ネット上の画像を見つけただけでは販売に使えません。他人の顔や似顔絵は本人の許可等を確認します。AIで描き直しても、権利の問題が自動で解消するわけではありません。

CodexはChatGPTのFree・Go・Plus・Pro・Business・Edu・Enterpriseの各プランに含まれます。ただし提供状況、使えるモデル・機能、使用量上限は異なります。Freeでは画像生成が利用できないため、画像生成が使えるプラン・環境、または使用权のある準備済み原画が必要です。[1]

最初に試す設定：利用可能ならGPT-6.1 Sol・推論「軽」。通常の企画・制作指示・確認には十分な結果が期待できる目安です。画像生成ツールの画質設定とは別で、出来を保証するものではありません。

制作では一定量のトークン・利用枠を消費します。トークンはAIが情報を読み書きする単位です。指示、参照画像・ファイル、会話、修正・再生成で使用量が変わり、固定量ではありません。画像生成も利用枠を使います。上限や追加料金を確認して始めてください。[1]

1. インストールする

最初の1回だけ / Codexに導入を依頼できます

ZIPを入手

>

Codexへ添付

>

導入を依頼

>

結果を確認

先に用意するもの

Windows 10/11、デスクトップ版Codex、ChatGPTアカウント、インターネット接続、Python 3.10以降。画像生成・ブラウザー操作がCodexで使えるかも確認します。Chromeがあるだけでは自動操作はできません。

おすすめ : Codexに導入を依頼する

配布ZIPをダウンロード。Codexの新しいチャットの入力欄へドラッグし、ファイル名が添付表示されたことを確認します。次の文章を送信してください。添付だけではインストールされません。

このPCに合わせてインストールしてください。添付ZIPの内容を確認し、このPCのスキル保存先とPython環境を調べて導入してください。既存版があればバックアップしてください。導入結果を確認し、制作フォルダーの作り方を教えてください。LINEへの登録・審査申請はしないでください。

ファイルが添付できない場合 : ZIPを右クリックして「すべて展開」。展開フォルダーをCodexの作業フォルダーとして開き、同じ文章を送ります。ファイルへのアクセスやダウンロードの許可が必要な場合は、説明を確認して承認します。

代わりに手動で導入する

1. ZIPを「すべて展開」し、展開フォルダーを開く。
2. install.cmdをダブルクリック。「Installed」が出れば完了。
3. Python未導入なら公式サイト [4] から3.10以降を導入。
4. setup-python.cmdを実行。「Pillow ready」が出れば完了。

同名の既存版があると手動インストーラーは停止します。削除せず、バックアップと更新をCodexに依頼してください。セキュリティ警告や会社PCの制限をむやみに解除しないでください。黒い画面のエラーは記録して相談します。

2. 制作フォルダーを作る

保存先を決めてから、Codexへ依頼します

new-project.cmd

>

商品名を入力

>

フォルダー完成

new-project.cmdをダブルクリックし、Project nameと出たら商品名（例：毎日の挨拶）を入力してEnter。既定で24個の案件が作られます。8個・16個にしたい場合は、制作を始める前にCodexへ変更を依頼してください。

保存先の見方（フォルダーの図解）

デスクトップ

LINEスタンプ制作

毎日の挨拶_20261005

plan.json … 決定した内容と進捗

source … 基準画像・原画

preview … 見た目と動作の確認用

submission … LINEへ登録する画像

checks … 技術検査の結果

registration … 登録内容の確認記録

日付は作成日に変わります。OneDriveを使っている場合もWindowsが認識するデスクトップに作られます。フォルダー作成だけでは画像はできません。同じ商品名・同じ日付がある場合は上書きせず停止します。

Codexで案件を開く

Codexのフォルダー選択機能で上記案件を開きます。名称や位置はアプリの版により異なります。新しいチャットに下の文章を貼り、キャラクター画像を添付します。添付操作が分からなければ、基準画像をsource内に置き、ファイル名を伝えてください。

\$line-animation-stickers

このフォルダーで、日常の挨拶スタンプを24個作ります。添付キャラクターを使い、各段階で確認してください。まだ全点制作やLINE登録は始めず、最初にキャラクターと企画を決めてください。コピーライトは【自分の表記】です。審査リクエストは私が手でクリックします。AIは押さないでください。

このマニュアルでは最後の審査申請は人が行います。最初の指示にも「AIはリクエストを押さない」と明記し、登録開始時にも伝えます。

3. 最初のデザインを固める

ここでの確認が、完成度とやり直しの量を左右します

元のキャラクターがある場合／ない場合

ある場合：顔と全身が分かる、鮮明な基本画像を渡します。背景や小物が複雑すぎない画像が向いています。

ない場合：動物や人物、性格、色、体形、服、画風を伝えて候補を作り、1つを基準に決めます。

「3D風にして」などの変更もできます

このキャラクターを、丸いソフビ人形のような3D風にしてください。顔・配色・体形などの特徴は保ってください。まず正面の見本1枚だけを作り、私の確認後に次へ進んでください。

3D風は立体的に見えるイラストです。この工程で必ず3Dモデルや編集可能な立体データが作られるわけではありません。画風を変えた後も、同じキャラクターに見えるか確認します。

基本画像

>

画風を決める

>

見本を確認

>

デザイン確定

デザイン確定のチェック

- ☐ 顔・目・口・体形・配色が希望どおり
- ☐ 左右の特徴、服や小物が整理されている
- ☐ 正面と全身が見える基準画像を保存した
- ☐ 他作品に似すぎていない／権利を確認した
- ☐ この姿で全スタンプを作ってよい

元のキャラクターの出来が仕上がりに影響します。最初のデザインをしっかり決めてください。アニメーション制作後に顔・体形・画風を変更すると、多くの原画や動作を作り直す必要があり、時間やトークンが余計にかかります。

使用量を抑えるコツ：まず見本1枚で画風を決め、次に代表的な動き1～数個を確認します。修正は「03の文字だけ」など対象と変更点を絞って伝えます。

基本画像の指示づくりには、[画像生成プロンプトメーカー](#)も補助として使えます。特徴を整理した指示文を画像生成AIへ渡し、正面・全身・シンプルな背景の見本から確認します。リンク先の具体的操作は未確認です。

4. メッセージと動きを決める

8・16・24個から選択 / 代表作を確認してから全点制作

一覧を決める

>

方向別の見本

>

文字と動き

>

全点制作

「ありがとうございます」「了解しました」など、使う場面に合うメッセージを選びます。傾向（敬語・家族向け・仕事向け等）を伝えれば、AIに案を提案してもらえます。半自動は、決めた方針の範囲で中間作業をまとめて進める方式です。

一緒に決める項目

メッセージ／表情／動作／使う場面／正面・左右・背面など必要な向き／文字の書体・色・縁取り・改行・表示タイミング。原画と文字は別工程で合成し、文字の誤りを減らします。

やさしい敬語で24案を提案してください。各案にメッセージ・表情・動きを付けてください。文字は大きく、白い縁取りで読みやすく。まず一覧だけを見せてください。

代表作を確認する

長いメッセージ、向きが変わる動き、大きな動作などを試作します。読めるか、キャラクターが崩れていないか、動きが自然かを確認し、問題があればこの段階で修正します。承認後に全点を作ります。

完成後は静止画像と動作の両方を確認

- ☐ 全点の文言に誤字・文字欠けがない
- ☐ 顔・手足・服・小物が途中で変わらない
- ☐ 明るい背景・暗い背景でも文字が読める
- ☐ 動きの開始・途中・終了が自然
- ☐ 先頭画像だけでも意味が伝わる
- ☐ 画像の大きさ・容量・時間などの検査が合格

先頭画像は、動いていない場面での表示にも使われます。技術検査合格だけでは、見た目の良さ・LINE審査通過・スマートフォン表示を保証しません。[2]

入稿ZIPと案件フォルダー全体をバックアップします。完成ZIPだけでは原画や決定内容が残らないので、案件全体も保存してください。

5. LINEへ登録する

事前ログイン / 最後のリクエストは人がクリック

人がログイン

>

AIが入力・保存

>

人が確認

>

人が申請

登録前の準備

LINE Creators Market [5] のクリエイター登録を済ませ、AIが操作するブラウザでログインした状態にしてください。パスワード・認証コードは人が入力し、チャットや制作ファイルへ書かないでください。別ブラウザのログインは引き継がれないことがあります。

LINE Creators Marketにログインしました。この案件の登録作業を開始してください。タイトル・説明文・画像・タブ画像・タグなどを入力し、編集集中で保存してください。保存内容を読み戻して見せてください。リクエストボタンは押さず、私が確認後に手でクリックします。

対応ツールが利用できる場合、タイトル、説明文、メイン画像、タブ画像、スタンプ画像、タグなどを自動入力・アップロードできます。クリエイター名、コピーライト、価格、販売地域、AI使用情報、キャンペーンも確認します。未指定の項目は人が決めます。

作業中に気を付けること

一時的に停止したように見えても、ローカルで画像処理や検査をしていることがあります。進捗やエラー表示を確認し、まずしばらく待ってください。AIが操作しているブラウザのクリック・入力・更新・タブ切り替えは、誤動作を防ぐため行わないでください。

長く変化がなく不安なときは、ブラウザを触らずCodexのチャットで「現在の状況を教えてください」と伝えます。人の確認待ちやログイン待ちなら、その案内に従って操作の受け渡しをします。

保存後に確認し、人が申請する

商品ID、タイトル、説明文、個数、全画像、メイン・タブ、タグ、価格、地域、コピーライト等を確認。AIのブラウザ操作が終わったことを確認してから、人が「リクエスト」をクリックします。確認画面があれば内容を読んで確定し、申請後の状態も確認します。

申請受理と審査通過は別です。販売開始も別の操作です。審査結果を待ち、承認後にLINEの案内に従って販売開始を判断してください。

6. 困ったとき・再開するとき

エラーを記録し、同じ案件から再開します

スキルが見つからない

install.cmdの成功表示を確認し、Codexで新しいチャットを開きます。見つからなければアプリを再起動。「\$line-animation-stickersが認識されない。導入先を確認してください」と依頼します。スキル名の綴りも確認してください。

Python・Pillowの準備に失敗する

Python未導入なら公式サイトから導入し、setup-python.cmdを再実行。通信エラーなら接続・会社PCの制限を確認します。エラーが続くときは、最後の表示をCodexに伝えます。秘密情報を含む場合は隠してください。

「Already exists」「Project already exists」

既存のスキルや案件を守るため停止しています。新しい制作は別の商品名で作成。継続するなら既存案件を開きます。更新は旧スキルをバックアップしてから行い、制作案件を削除しないでください。

画像生成やブラウザー操作が使えない

プラン、ツールの提供状況、アカウント・組織の制限を確認します。Codexを使えることと、画像生成・ブラウザー操作を使えることは別です。使えない工程を完了済みと扱わず、準備済み原画や手動登録などの方法を相談します。

中断した制作を再開する

\$line-animation-stickers

この案件のplan.jsonと保存済み素材を確認し、未完了の工程から再開してください。キャラクターのデザインは変更しません。新しい商品を重複登録せず、登録済みの場合は商品IDを確認してください。審査リクエストは私が行います。

やり直しを小さくする

「05の文言を〇〇に変更。他は変更しない」「02の手の動きだけをゆっくりに」など具体的に依頼します。大幅なデザイン変更は、作り直す範囲と使用量の見通しを先に相談してください。

AIには顧客の機密画像・個人情報を未加工で渡さないでください。制作フォルダー、基準画像、入稿ZIPは自分で保管します。スキルの削除と制作データの削除は別です。

開始前・申請前のチェック

優先順に確認 / 公式情報は変更されることがあります

優先度1：制作を始める前

- ☐ 素材・キャラクター・人物・フォントの権利を確認した [3]
- ☐ 使用量の上限と必要な画像生成・操作ツールを確認した [1]
- ☐ 基本キャラクターのデザインを確定した
- ☐ 保存先とバックアップ方法を決めた

優先度2：全点を作る前

- ☐ 個数・文言・文字方針を決めた
- ☐ 方向別のキャラクターに一貫性がある
- ☐ 代表作の動き・文字を確認した
- ☐ 修正は対象と内容を絞って伝える

優先度3：審査リクエストの前

- ☐ AIの操作が完了し、人が画面を操作してよい状態
- ☐ 全画像の動作・誤字・可読性と技術検査を確認した
- ☐ タイトル・説明・価格・地域・コピーライト等を確認した
- ☐ 商品IDと保存状態を確認した
- ☐ リクエストは人がクリックし、申請状態を確認する

用語のミニ説明

スキル：AIに作業手順を伝えるファイル群。

Python／Pillow：画像の合成や検査に使う補助ソフト。

APNG：複数の画像を順番に表示する、動くPNG形式。

タブ画像：LINEでスタンプを選ぶ欄に表示する小さな画像。

公式情報・確認日：2026-10-05

[1] OpenAI：プラン・使用量

[2] LINE：アニメーション制作規格

[3] LINE：審査ガイドライン

[4] Python：Windows用ダウンロード

[5] LINE Creators Market

図解は操作の流れを示すイメージです。実画面の配置・名称はアプリの版により変わります。本マニュアルはWindows版Codex用で、dots・Workの手順や実行確認は含みません。